

＝＝＝クラブ紹介＝＝＝

《このコーナーでは、ガバナー公式訪問で訪れたクラブについてご紹介します》

男鹿北ロータリークラブ

会長 三浦 邦好 幹事 千葉 俊



1970年の創立で、来春、創立40年記念式典を開催する予定がある。セイコーランドホテルが例会場で、毎週火曜日17時00分から開催の夜例会である。13時30分に開催されています。

男鹿の地形を利用した海釣り・ゴルフ大会とバーベキュー・花見例会や、家族参加のクリスマス忘年会等、親睦会に関しては多彩な趣向があり、どこのクラブにも負けないという自負がある様で、また昼間はそれぞれの仕事があり、やむを得ず始めた夜例会のためか、会員の結束力に強さを感じます。退会された方は、高年齢を理由とした人を除けば、一人もいないとのこと。

また、地域内の航空自衛隊男鹿駐屯地幹部の方々との懇親会は継続して開催しているようで、他組織との交流を継続されているのは素晴らしいことです。勿論、親クラブである男鹿ロータリークラブとの合同懇親会は年2～3回開催されています。今年度は、男鹿北クラブにガバナー事務所が開設されており、分区内の男鹿北RC・男鹿RC・五城目RC・潟上RCの4クラブ合同の懇親会も企画されているようで大変忙しい年度になりそうです。

今年度は新に、近年増加している老人世帯で、路線バスの廃止や減便などで買物に苦心されている方々への買物の支援が出来ないか、検討していきたい。また障害者施設への行事参加など、新規事業の開拓にも積極的な取り組みがみられます。

会員増強についても、具体的対策として候補者を親睦例会・通常例会に招き活動を理解していただくとのこと。2010年7月(今月)、入会された方も昨年12月から例会に顔



を出されていたようです。まだ、候補者はいるようです。そして、過去に会員であった方のご子息や現会員のご子息にも例会への出席を働きかけ、育てていきたいとのことでした。

《ガバナー公式訪問報告》

会長； 三浦 邦好 幹事； 千葉 俊

7月20日 地葉ガバナー、平澤ガバナー補佐を迎えて、当クラブ会長 次期会長 幹事 直前会長と、3代のメンバーと今後の運営で、地葉ガバナーよりお話があった。大きく分けて1、3代にわたって集まってもらった理由。 2、自分のクラブの強み。 3、会員増強について。4、ロータリアンの意識と寄付金についての認識。今回のガバナー訪問は我々にとっては意味あるものになったと感じる。まずは心構えである。3代に渡っての召集の意味。会長になるに当ってはエレクトの間に準備すべき。当然のことであるが地域の仲間だけでやっていると、只の順番消化の気持ちが有り、その場かぎりの計画で終わる可能性もあるので大いに参考になった。ガバナーから「得意分野で周りのクラブを巻き込んだら」との提案。巻き込むことで接点生まれ人を知り、知ること活動になり魅力が伝わる、魅力があれば人が集まり世代を超えた会員増も可能になる。

当クラブの強みは他クラブより多彩に行っている懇親会である。人みしりの多い我がクラブとしては、唯一自信を持って実行できる手段であると感じる。

「国際貢献には寄付金という形でかかわりがありますよ」との言葉には驚きがあった。「労力=貢献」という固定観念があり、「寄付金=貢献」とはまったく考えていなかった。使用用途を理解しないまま「寄付金」と言う名前だけの認識しかしていない自分を感じた。

それと「ロータリーバッジをつけていると対外的に身分保障された人間である」という話があった。地区でしか活動していないメンバーであれば身分保証につながっているとの認識は皆無である。信用と信頼があるクラブであることを改めて感じた次第である。原点である「職業奉仕 皆で助け合いましょう」。職業人の集まりである会員とのコミュニケーションとアイデアを実行する環境づくりの大事さが、今後のロータリーの繁栄に寄与すると考える。また地葉ガバナーの意気込みも感じた時間でもあった。